

九州ハンドボール協会

1 緊急事案

競技会場、その周辺等において、以下の緊急事案・疾病等が発生した場合、現場において迅速かつ適切に対応するとともに、競技会主管県協会（沖縄県ハンドボール協会）が大会本部（九州ハンドボール協会）に連絡する。

- (1) 災害（大雪・落雷・暴風・地震・噴火等）
- (2) 競技会関係者の交通事故，人身事故，重篤な疾病等
- (3) 病院搬送事案（事故・傷害・食中毒・感染症等）
- (4) その他

2 競技会の中止・中断等の協議

緊急事案（上記1－（1）等）が発生した場合，競技会実施本部（九州ハンドボール協会・沖縄県ハンドボール協会・沖縄県高等学校体育連盟ハンドボール専門部）は，競技会の中止・一時中断・順延・入場者の制限・避難などについて対応を協議する。

(1) 情報収集

競技会実施本部は，協議のための情報収集を行う。

- 気象状況      ○地震・津波・噴火等の状況      ○感染症等の情報      ○事故の状況
- 競技会場及び周辺の状況      ○競技会場までの交通状況

(2) 競技会実施の最終判断

競技会当日，午後2時を目安とする段階で大雪警報・暴風警報・避難勧告・避難指示などが解除されていない場合は，それ以降に解除されたとしても，その日の競技会は，原則として，延期・中止する。

3 競技会実施の変更

緊急事案（上記1（1）～（4）等）が発生し，上記2の協議を経て，以下の変更等で対応可能な場合は，競技会を実施する。

- 競技日程      ○競技開始時刻      ○競技時間      ○役員配置      ○補助員配置

遅延・中断・再開等の場合も含めて，競技会の終了時刻は，午後8時までとし，役員  
の業務終了時刻（会場での解散時刻）を午後9時とする。

4 予定された競技日程で試合消化ができない場合の九州ブロック代表権の取り扱い

- (1) 九州ブロック代表権が決まり，代表順位を決める場合は抽選を行う。
- (2) 九州ブロック代表権が決まっていない場合は，代替日・代替地等を検討する。  
代替日・代替地等の設定が困難な場合は，該当チームによる抽選を行う。

5 「3 競技会実施の変更」で想定される案

(1) 競技日程

2月11日（火）は祝祭日であるが，会場の確保をしていないし，各チームの延泊や航空便などの各変更が困難であるため，試合を順調に消化できなかった場合の延期はできない。

## (2) 競技開始時刻

外出・移動に危険を伴う場合は、安全な場所（ホテル・自宅など）での待機とし、第1試合の開始時刻を遅らせる可能性がある。

また、定刻通りに試合を消化していても、試合後の移動（帰宅）困難が予想される場合にはその日の残り試合を行わない可能性もありうる。

## (3) 競技時間

上位大会につながる予選大会であるため、前半30分－休憩10分－後半30分の競技時間を原則変更する予定はない。

## (4) 役員配置・補助員配置

補助員生徒が所属する高等学校や管轄する沖縄県教育委員会などが、自宅待機措置（部活動の禁止や自粛）を通知した場合は、補助員生徒の動員・配置なしで大会運営を行う。

その際、オフィシャル補助員の業務は、TDとMOが兼務で担当する。コート補助員の業務（モップ係・得点係）は、大会本部が示す計画に基づき、各参加チームに依頼する。

全競技役員・全参加チームの協力体制で大会運営を行う。

## (5) 連絡体制

沖縄県高等学校体育連盟ハンドボール専門部「仲本 専門委員長」から、各チーム責任者32名にメールで随時連絡を行ったり、個別に電話連絡をしたりするので、各チーム責任者は、確認できる電波環境であることを意識しながら行動し、大会本部からの連絡を各選手・保護者と即座に共有できるようチーム間で連絡体制を整備・確認しておくこと。

## 6 最近の緊急対応例

### (1) 2017年9月 日本選手権予選（大分大会）

台風が日中に大分市内を通過する予報だったことから、参加全チームに8時30分までに体育館への入館を指示した。台風通過中、屋外の風雨は強かったものの、体育館内では試合を予定通り消化した。

体育館（施設側）とは、試合中の停電に備えて、事前に非常電源の確保と電灯の復旧時間も確認していた。試合が早く終わったチームには、即座に帰着せず、台風の影響がおさまるまで体育館内に常駐することを指示した。

競技会場の体育館は、行政側が指定する防災避難所だったことから、暴風雨圏外時に移動、暴風雨圏内時に体育館内で試合という対応だった。

### (2) 2018年10月 JOC九州予選（福岡大会）

台風の北上に伴い、福岡市内に再接近する予報だったことから、沖縄県は安全に移動できる3日前から会場入りした。競技会当日に早朝移動だったり、日帰りする予定だったチームは、全て前日から福岡市内に宿泊し、ホテルで待機した。

競技第1日の午前中は、ホテル・自宅待機を指示した。

第1試合の開始を台風通過後の16時30分～、第2試合の開始を18時00分～とした。残りの試合は第2日に移動させ、第1試合～第7試合まで行い、全試合を消化した。

台風接近前に早めの現地入り、暴風雨圏内時にはホテルで待機、暴風雨圏外になり、安全な時間帯からの移動、試合を行うタイムテーブルの変更対応だった。